

1 単元 ダンス「創作ダンス」

2 指導観

○ ダンスは、個人や集団で踊り、表現したり交流したりすることが楽しい運動である。イメージを自由に表現して踊る「創作ダンス」、伝承された踊の踊方を身につけて踊る「フォークダンス」、現代的なリズムに乗って動きを工夫して自由に踊る「現代的なリズムのダンス」で構成され、自己の能力に適した課題に取り組んで表現したり、みんなと一緒に踊って喜びや楽しさを感じたりすることができる運動である。創作ダンスは、イメージする世界を表現して自由に踊る楽しさや仲間と動きを工夫しあって表現したり、見せ合って表現のよさを認め合ったり、感動を分かち合ったりする楽しさや喜びがある。また、表現や踊りを通して、仲間とのコミュニケーションを豊かにすることをねらいとする単元である。

○ 本学級の生徒は、1年16名・2年18名である。運動部に所属している生徒は、約32%であるが、明るく元気であり、基本的には体を動かすことが好きで積極的に授業に参加している。チャイム前に保体班を中心に大きな声で号令走が始まり、準備運動・補強運動まで進めていく。忘れ物もほとんど無い。

2年生は、昨年度、現在の3年生と異学年でのダンスの授業を経験している。体育大会で毎年踊っている『黒田節』を教えてもらうことを通して学年が違うという壁を取り除き、「体を使って表現することが楽しい」「リズムに乗って動くことが楽しい」「運動が苦手でも仲間と協力してできる」など、ダンスの授業の楽しさを感じ始めていた。しかし、多くの生徒は、自分たちでダンスを創作するとなると「恥ずかしい」「動きが出てこない」「創作が難しい」等と思っている。

○ 指導にあたっては、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化をつけて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊らせ、感じを込めて踊ったり仲間と一緒に踊ったりする楽しさや喜びを味わわせたい。そのためにまず、オリエンテーションで「中学体育実技」やビデオを活用してダンスの特性を理解させ、視覚でダンスのイメージを膨らませる。また、授業の進め方を説明し、個人カードの書き方を説明する際に、仲間へのアドバイスなどコミュニケーションの大切さを伝える。ダンスの授業を通して、柔軟性を高め、体の可動域を広げ、自由に体を動かすことができるように準備運動等でさまざまな動きを体験させたい。

次に、課題に応じてイメージを膨らませ動きを創って表現させる。生徒が即興表現しやすい課題を設定し、イメージしやすい曲をBGMとして流す。また、ものを使って体を表現させるきっかけをつくる。ものを使った動きやものの動きからイメージを広げて動きを見つけ出し、体の動きに結びつくように工夫したい。グループ編成を場面ごとに変化させ、2人、3人、4人、5～6人としたり、同学年、または異学年で編成させたりと学習内容によって工夫する。昨年度経験している2年生をあらゆる場面で1年生をリードさせる。毎時間ごとに「踊る－創る－見せ合う」という流れで授業を進め、見られていることと見てアドバイスをすることに慣れさせる。

さらに、テーマからイメージするものを作品として表現させる。イメージするものをイラストにして作品の構成をし、体で表現させる。互いに見合わせ、ふさわしい動きを選択させながら作品を仕上げる。

最後に、発表会を行い、互いのよいところを見つけて発言できるようにさせたい。そして、何よりもひとつの作品を作り上げた達成感を味わわせたい。

3 目標

- ダンスの特性に関心をもち、踊る楽しさを味わえるように意欲的に取り組むことができる。
- 動きを互いに見せ合い、よいところを認め合い、高め合うことができる。
- いろいろなイメージに対して自分の感じたことや工夫した動きを素直に表現して踊ることができる。
- ダンスの特性や発表・鑑賞のしかたを理解できる。

4 計画（7時間） 関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能 知：知識・理解

次	時	学習活動・内容	目標達成のための手立て	評価規準
一	1	1. オリエンテーションを通してダンスの特性や学び方を理解する。 ・ダンスの特性 ・学習のねらいと進め方 ・班編制 ・個人カードの書き方	○「中学体育実技」やビデオを活用し、ダンスの特性を理解させ、イメージをもたせる。 ○授業の進め方や個人カードの書き方を説明する。	関：意欲的に体を動かそうとする。 〈活動内容チェック〉 思：個人カードの使い方を理解し、具体的な課題を見つけることができる。 〈個人カード分析〉
二 本 時 3 / 7	3	2. 課題に応じてイメージを膨らませて動きを作り、表現する。 ・テーマにそってポーズ ・新聞紙に変身 ・ミラーの世界 ・エアースポーツ ・対極の動きの連続 ・集団の動き	○同学年、または、異学年で2人組を作って踊らせる。 ○曲に合わせてリズムカルに体を動かすなど心地よさや踊る楽しさを味わわせる。 ○もの(新聞紙)を使って体をほぐさせ、体で表現させるきっかけをつくる。 ○変化をつけたり、メリハリをつけたりして全身を使って大きく表現させる。 ○仲間の動きを見て、よかったところを出し合わせる。 ○テーマからイメージを膨らませ、グループの中で互いの意見を出し合い作品を作らせる。	関：恥ずかしがらずに楽しく踊ろうとする。 〈活動内容チェック〉 思：イメージを膨らませて動きを見つけ出そうとしている。 〈活動内容チェック・個人カード分析〉 技：イメージにふさわしい動きを表現できる。 〈活動内容チェック〉
三	2	3. 作品を創作する。 ・班編制 ・テーマ決定 ・作品創作 ・練習	○異学年での班構成にする。(5～6人) ○テーマからイメージするものをイラストにして作品の構成を考えさせる。 ○互いにイメージするものを体で表現して見せ合わせ、ふさわしい動きを選択させる。 ○踊りこみをさせ、作品に仕上げさせる。	関：互いの動きを認め、協力して練習しようとする。 〈活動内容チェック〉 思：テーマからイメージにふさわしい動きを選択している。 〈活動内容チェック・発表カード分析〉 技：イメージを膨らませた動きを体を十分に使って表現できる。 〈活動内容チェック〉
四	1	4. 発表会を行い、学習のまとめをする。 ・発表会及び鑑賞会 ・自己評価	○作品を見せ合い、互いのよいところを見つけ発表させる。 ○発表カード、個人カードを使って活動内容を振りかえさせる。	関：発表を楽しもうとする。 〈活動内容チェック〉 思：互いの作品のできばえを評価することができる。 〈個人カード・発表カード分析〉 思：自己の目標が達成できたか振り返ることができる。 〈個人カード分析〉 技：班で作り上げた作品を大きな動きで気持ちを込めて踊ることができる。 〈活動内容チェック〉 知：種目の特性、発表会のマナーを理解することができる。 〈発表カード分析・定期考査〉

(1) 本時の指導観

生徒は、前時までには2人組や3人組でストレッチをしたり、互いのまねをして体を動かしたりしてきた。また、曲に合わせてリズムカルに体を動かし、体を動かすことの心地よさを体験した。しかし、「恥ずかしい」「動きがすぐに浮かんでこない」と感じている生徒が多く、動きが小さく、仲間のよさもまだ見つけることができないでいる。

本時では、イメージを膨らませ、からだ全体を使って表現することをねらいとする。そのためにまず、身近なスポーツをテーマにして、仲間と協力して作品を作らせる。練習や発表を通して、恥ずかしがらずに思いっきり動くことができるようにさせたい。次に、新聞紙の動きからイメージを膨らませ、新聞紙になりきったり、からだを大きく動かしたりすることで表現させる。最後に、個人カードによって本時を振り返らせ、次時の活動につなげさせていきたい。

(2) 主眼

- (1年) イメージしたことを恥ずかしがらずに表現することができる。
- (2年) イメージしたことを恥ずかしがらずにからだ全体を使って表現することができる。

(3) 準備

- ①個人カード (筆記用具) ②中学体育実技 ③ホワイトボード ④テーマカード ⑤新聞紙
- ⑥CDデッキ ⑦音楽CD

(4) 過程

学習活動・内容	準備	手立て<○>と評価<◆>	形態	配分
1. 学習の準備をする。 ・集合、整列 ・号令走、準備体操、補強運動 ・挨拶 ・出欠確認、健康観察	①② ③④ ⑤⑥ ⑦	○準備運動を通して体の調子を気づかせる。 ○出欠、見学者、忘れ物を確認し、健康観察をする。	一斉	5
2. 本時の流れとめあてを確認する。 <学習のめあて> イメージしたことをからだを使って表現しよう。	①③	○前時の反省を再確認し、本時のめあてや学習内容を理解させる。	一斉	5
3. エアースポーツをする。 ・ボクシング ・バスケットボール ・バレーボール ・シンクロナイズドスイミング ・ボウリング ・カーリング	③④ ⑥⑦	○大きさに動くように(スローモーションなども使って)させる。 ○発表をさせ、よかったところを出させる。	グループ	20
4. 新聞紙になる。 ・新聞紙の動きを表現 揺らす、回す、丸める、とばす、貼り付ける、折りたたむ、転がす、破るなど	③⑤ ⑥⑦	○指導者が動かした新聞紙にあわせ、イメージしたものをからだで表現させる。 ※2年、1年の順で行わせる。(2年の動きを参考にさせる。) ○グループの中のひとりが新聞紙を動かし、その動きに合わせて新聞紙になりきらせる。 ◆技： (1年)イメージしたことを恥ずかしがらずに表現することができるか。 (2年)イメージしたことを恥ずかしがらずにからだ全体を使って表現することができるか。 <活動内容チェック> ○新聞紙になってからだを動かした感想を発表させる。	一斉 グループ	15
5. 本時のまとめと次時の確認をする。	①②	○仲間からアドバイスをもらって自己評価をし、次時の課題を見つけさせる。	一斉	5

